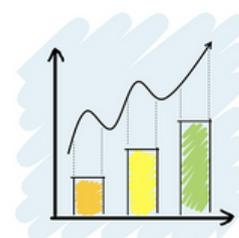


ランキングに魅入られる

岡山県立倉敷工業高等学校 資格検定指導室 資格検定NEWS



人生にはランキングがついてまわります。学校での成績は、是々非々の議論があるものの、その後の進路決定への影響を及ぼす資料として残りますし、身近な生活の中にも、「夕日の美しい場所百選」とか、「日本の棚田風景百選」などのようにランク付けされて紹介され、現場に出向いて自分の目で確かめる前に、他社による評価でそのイメージが構築されてしまいます。

書評記事に「とはいえ、人間はランキングを気にするが、ランキングと幸福が一致するとは限らない。オリンピックの銀メダリストは、金をとれなかったと嘆くが、銅メダリストは、メダルをとれたと喜ぶ。比べる相手によって幸福感は変わるのだ。他人と比べないことは難しい。だからある社会心理学者は、満足したいなら、自分に有利な相手と比較せよという。また、自分を追い込みたいなら、自分に不利な相手と比較せよという。」と紹介されていました。大切な人生を生きていく上で、他人との関わりは無視できませんが、比較することによって一喜一憂するのはどうなのでしょう。山に籠もって「仙人生活」を皆がする訳ではありませんが。

昨年の資格検定NEWSで、「他人との比較」が息苦しさを生む原因の一つではないかとの話題を取り上げました。そんな中、朝日新聞の2月の書評欄でペーテル・エールディが著した『ランキング 私たちはなぜ順位が気になるのか?』という本を知りました。署名に大変興味を持ったからです。その中で取り上げられていた話題について、共感しました。